

報道関係各位

2016年9月2日

大東建託グループ「ケアパートナー」 民間企業初 eラーニングを使用した『認知症介護基礎研修』を開始

大東建託グループのケアパートナー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：白井孝和）は、2016年9月5日（月）より、社会福祉法人 東北福祉会認知症介護研究・研修仙台センター主催の『認知症介護基礎研修』に準拠する「認知症の人の理解と対応の基本」において、民間事業者で初めて、eラーニングを活用した研修を取り入れ、運用を開始します。

これまで認知症に関する研修は、行政機関主催によるものが主流でしたが、急速に進む日本の超高齢社会に対応できるよう、より多くの介護従事者へ受講を促進するために、民間事業者が主催する研修の実施が可能となりました。

■日本における認知症を取り巻く背景

日本の高齢化は急速に進んでおり、認知症の方の数は2025年には約700万人（65歳以上の高齢者の5人に1人）まで増加すると見込まれています。これに対し厚生労働省は、認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）を定め、認知症の方の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるような社会の実現を目標としています。そこで、新任の介護従事者などが認知症介護に最低限必要な知識・技能を習得するためのeラーニングを活用した研修『認知症介護基礎研修』を新たに導入し、認知症介護に携わるすべての従事者の受講を目指すこととしました。

■『認知症介護基礎研修』カリキュラムの概要

本研修カリキュラムは、講義を主体とした科目「認知症の人の理解と対応の基本」と、演習を主体とした科目「認知症ケアの実践上の留意点」の2科目により構成されています。（受講時間は各180分間）

この内、「認知症の人の理解と対応の基本」はeラーニングでの受講が可能となり、当社では管理者を含むすべてのスタッフのeラーニングによる受講を決定しました。これによりスタッフへの効率的な教育、そして、質の高いサポートの提供が可能になると考えています。

■ケアパートナー株式会社概要

- ・会社名 : ケアパートナー株式会社
- ・社員数 : 2,161名（臨時雇用社員含む）※2016年6月現在
- ・施設数 : デイサービスセンター74施設、保育所11施設 ※2016年9月現在
- ・事業内容 : デイサービスなどを中心に、地域に密着した介護保険事業および保育所事業の運営



【「認知症の人の理解と対応の基本」のカリキュラム内容】

- 序章 : 認知症を取り巻く現状
- I : 認知症の定義と原因疾患
- II : 認知症の中核症状と行動・心理症状の理解
- III : 認知症ケアにおいて基礎となる理念や考え方
- IV : 認知症ケアの基礎技術

【eラーニングの流れ】



出典：認知症介護基礎研修、実践研修等のあり方 およびその育成に関する調査研究事業 報告書

<本件に関するお問い合わせ> 大東建託株式会社 経営企画室 畑中・和賀
E-MAIL: he072032@kentakou.co.jp
TEL: 03-6718-9174